レンズ交換式デジタルカメラ取扱説明書および付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報など）は下記のホームページから

『α』専用サポートサイト
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/

『α』オフィシャルサイト
http://www.sony.jp/ichigan-e/
レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。(English manual download service is available.)
付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「402」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

4437011020

NEX-6

SONY

4-437-011-**02**(1)

レンズ交換式デジタルカメラ

取扱説明書

Eマウント

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

α

NEX-6

⚠警告 安全のために

→ 98 ～ 102ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・ においがしたら 煙が出たら	→	❶ 電源を切る ❷ 電池をはずす ❸ 相談窓口に連絡する

裏表紙に**相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

目次

本書では付属するレンズが異なる機種をまとめて記載しています。
レンズによって、機種名が変わります。

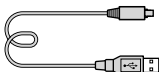
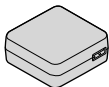
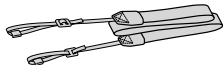
機種名	付属されるレンズ
NEX-6	なし
NEX-6L	E16-50mm
NEX-6Y	E55-210mmとE16-50mm

付属品を確認する

ご自分のカメラの機種名をご確認の上（5ページ）、付属品をお確かめください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数

全機種共通

- カメラ（1）
- リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50（1）

- マイクロUSBケーブル（1）

- ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D（1）

- ショルダーストラップ（1）

- アイピースカップ（1）

- シューキャップ（1）（本機に装着）
- CD-ROM（1）
  - αアプリケーションソフトウェア
  - αハンドブック
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

NEX-6

- ボディキャップ（1）（本機に装着）

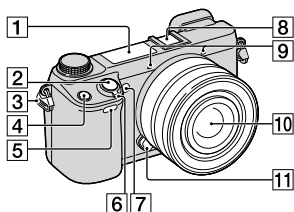
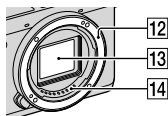
NEX-6L

- E16-50mmズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ含む）（本機に装着）

NEX-6Y

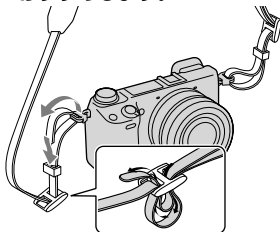
- E16-50mmズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ含む）（本機に装着）
- E55-210mmズームレンズ（1）（レンズフロントキャップ、レンズリヤキャップ含む）/レンズフード（1）

各部の名前を確認する

( )の数字は、参照ページです。

レンズ取りはずし時

1 フラッシュ（44）

2 シャッターボタン(24)

3 ショルダーストラップ取り付け部

落下防止のため、ストラップを付けてお使いになることをおすすめします。

4 Fnボタン(45)

5 リモコン受光部

6 ON/OFF(電源)スイッチ(21)

7 AF補助光/セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ

8 マルチインターフェースシュー[1) 2)]

9 マイク[3)]

10 レンズ(16)

11 レンズ取りはずしボタン(17)

12 マウント

13 イメージセンサー[4)]

14 レンズ信号接点[4)]

1) マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/
アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

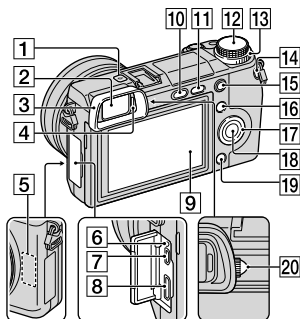
Multi Interface Shoe

Accessory Shoe

2) シューアダプター（別売)を使用して、オートロックアクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。

Auto-lock Accessory Shoe

3) 動画撮影時はふさがないでください。

4) 直接手で触れないでください。

1 ⊖イメージセンサー位置表示

2 ファインダー（20）

3 アイピースカップ（20）
- 出荷時は本機に装着されていません。

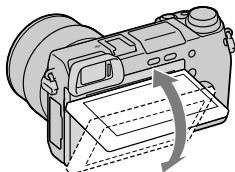
4 アイセンサー

5 Wi-Fi受信部（内蔵）

6 充電ランプ

7 マイクロUSB端子

8 HDMI端子（49）

9 液晶モニター
液晶モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。

10 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタン（44）

11 ▶（再生）ボタン（26）

12 モードダイヤル（39）

13 コントロールダイヤル（29）

14 MOVIE（ムービー）（動画）ボタン（25）

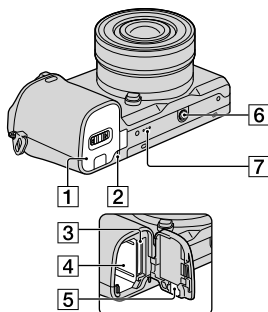
15 AELボタン（46）

16 ソフトキー A（30）

17 コントロールホイール（28）

18 ソフトキー C（30）

19 ソフトキー B（30）

20 視度調整ダイヤル（20）

1 バッテリー /メモリーカードカバー（11、18）

2 アクセスランプ(19)

3 メモリーカード挿入口(18)

4 バッテリー挿入口(11)

5 接続プレートカバー

ACアダプター AC-PW20（別売)を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。

- カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

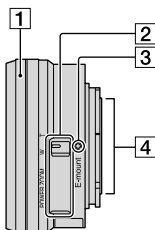
6 三脚ネジ穴

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使ってください。
ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

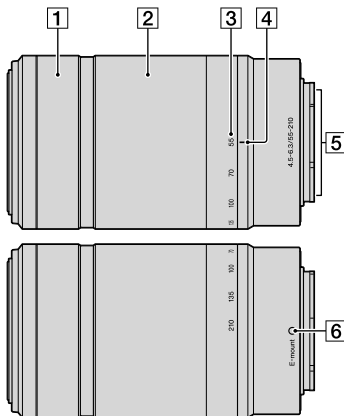
7 スピーカー

レンズ

レンズの仕様は95ページをご覧ください。

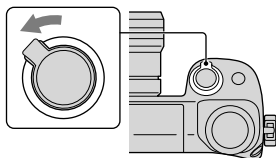
E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS（NEX-6L/NEX-6Yに付属）

1 ズーム/フォーカスリング
2 ズームレバー
3 マウント標点
4 レンズ信号接点[1)]

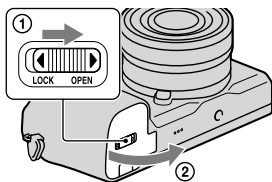
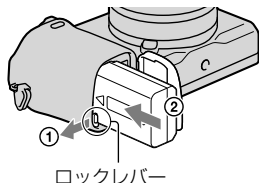
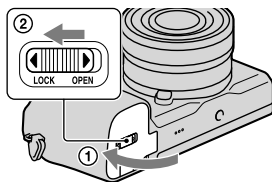
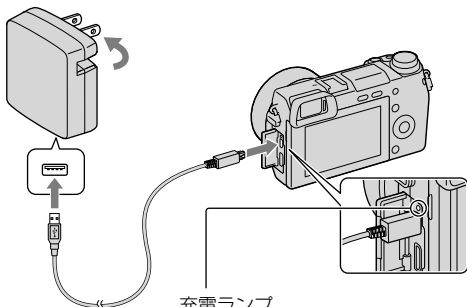
1) 直接手で触れないでください。

E55-210mm F4.5-6.3 OSS（NEX-6Yに付属）

1 フォーカスリング
2 ズームリング
3 焦点距離目盛
4 焦点距離指標
5 レンズ信号接点[1)]
6 マウント標点

1) 直接手で触れないでください。

バッテリー(電池)を充電する

初めてお使いになるときは、"インフォリチウム"バッテリー NP-FW50(付属)を必ず充電してください。
"インフォリチウム"バッテリーは、使い切らない状態でも充電できます。また、充電が完了していない状態で使用することもできます。
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

1 電源スイッチを「OFF」にする。

2 カバーのオープンレバーをスライドして、カバーを開ける。

3 バッテリーの端でロックレバーを押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

4 カバーを閉じる。

5 本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに取り付ける。

カメラの充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まる。

- 充電中は、電源スイッチを「OFF」にしてください。「ON」の位置では、充電できません。
- 充電ランプが点滅した場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。

充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー、または充電に適した温度範囲外での充電による充電一時待機

ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。
- ACアダプターは、手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーを取りはずし、再度充電してください。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

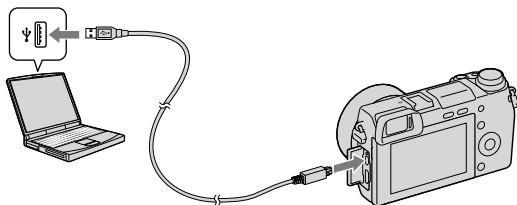
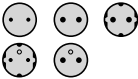
充電にかかる時間

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約280分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。また同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

海外で使用するには

ACアダプターは全世界（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）で使えます。ただし、地域によってはコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねのうえ、ご用意ください。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

バッテリー残量を確認する

液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量						「電池がなくなりました」
	多 → 少					撮影できません

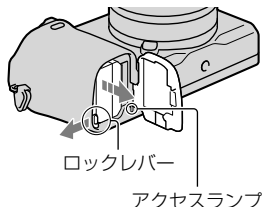
ご注意

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

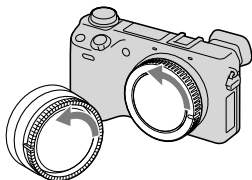
“インフォリチウム”バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

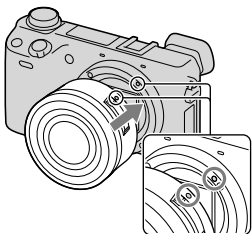
バッテリーを取り出す

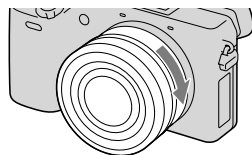
電源を切り、アクセスランプが点灯していないことを確認し、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。
このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。

レンズを取り付ける/はずす

レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

1 カメラやレンズに、キャップやカバーが付いている場合ははずす。

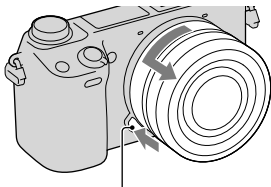
- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所で素早く行う。

2 レンズと本機の2つの白色の点を合わせてはめ込む。

- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付ける。

3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズを斜めに差し込まない。

ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、マウントアダプター(別売)が必要です。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。

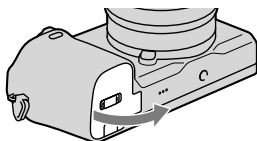
レンズを取りはずす

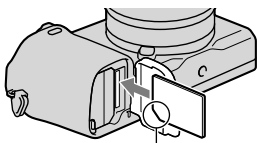
1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。

レンズ取りはずしボタン

ご注意

- レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（光を電気信号に変える部分）表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。本機はアンチダスト機能により電源オフ時に本機が少し振動し、ゴミやほこりが付きにくくなっておりますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- レンズをはずした状態のまま、カメラを放置しないでください。
- ボディキャップ、レンズリヤキャップをご使用の際は、別売のALC-B1EM（ボディキャップ）、ALC-R1EM（レンズリヤキャップ）をご購入ください。
- 電動ズームレンズ使用時は、カメラの電源スイッチを「OFF」にしてレンズが収納されたことを確認してから、レンズを交換してください。レンズが出たままの場合は無理やり押し込まないでください。

メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカードを入れる。

- イラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

3 カバーを閉じる。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

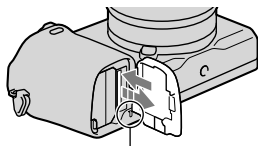
対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- マルチメディアカードは使用できません。

ご注意

- SDXCカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生したりすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット（初期化）を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。（exFATは、SDXCカードで使用されているファイルシステムです。）

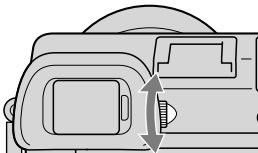
メモリーカードを取り出す

カバーを開けて、アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードを1度押します。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。

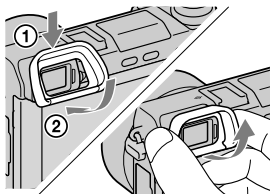
ファインダーの見えかたを調整する（視度調整）

ファインダー内の画面表示がはっきり見えるように、視力に合わせて調整してください。

1 視度調整ダイヤルを回す。

アイピースカップを付ける/はずす

ファインダーで撮影するときは、アイピースカップを取り付けることをおすすめします。

1 アイピースカップの上の部分をファインダーに当てて、下にはめ込む。

- はずすときは、左右を持って引き上げる。

ご注意

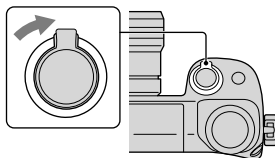
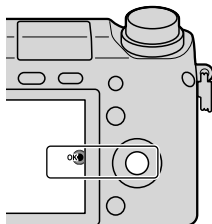
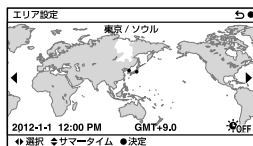
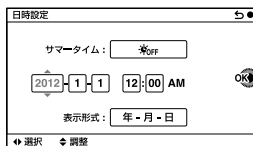
- マルチインターフェースシューに別売アクセサリーを取り付けるときは、アイピースカップをはずしてください。

日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときは、日時設定の画面が表示されます。

1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

日時設定を要求する画面になる。

- 電源を切るときは、「OFF」にする。

2 コントロールホイールの中央を押す。

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。

4 コントロールホイールの左右で項目を選び、上下を押す。またはホイールを回して数値を設定する。

サマータイム：日本では、サマータイムは「OFF」にする。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 4の手順を繰り返して、すべて設定し、コントロールホイールの中央を押す。

ご注意

- 本機には、画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PlayMemories Home」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。詳しくは、「PlayMemories Homeヘルプガイド」(64ページ)をご覧ください。

時計合わせをやり直す/現在の時刻設定を確認する

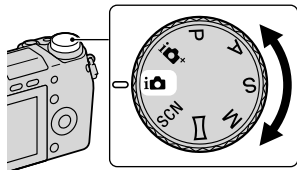
MENU→［セットアップ］→［日時設定］を選びます(56ページ)。

設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。詳しくは86ページをご覧ください。

静止画を撮る

i⌂(おまかせオート)では、本機が撮影状況を自動的に判断して撮影します。

1 モードダイヤルを i⌂ (おまかせオート)にする。

2 被写体にカメラを向ける。

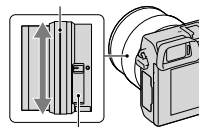
カメラがシーンを認識すると、(夜景)、(三脚夜景)、(夜景&人物)、(逆光)、(逆光&人物)、(人物)、(風景)、(マクロ)、(スポットライト)、(低照度)、(赤ちゃん)の各マークとガイドが液晶モニターに出る。

シーン認識マークとガイド

3 被写体の大きさを決める。

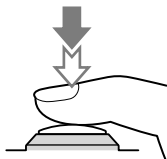
ズームレバー搭載レンズ：
ズームレバーを動かす。

ズームリング搭載レンズ：
ズームリングを回す。

ズームリング

ズームレバー

- 単焦点レンズでは、光学ズームはできません。
- 電動ズームレンズでは、光学ズームの倍率を超えると本体側のズームへ移行します(32ページ)。

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと、「ピピッ」という音がして●が点灯する。

フォーカス表示

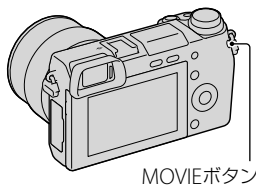
5 シャッターボタンを深く押し込む。

[オートポートレートフレーミング]が[オート]の場合、人物の顔を検出して撮影すると、自動的に最適な構図に切り出し（トリミング）した画像が記録される。トリミング前の画像と、トリミングされた画像の2枚が記録される。

動画を撮る

1 被写体にカメラを向ける。

2 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。

- ピントと明るさは自動で調整される。
- 撮影中にシャッターボタンを半押しすると、すばやくピントを合わせることができる。

3 もう一度MOVIE（動画）ボタンを押して、終了する。

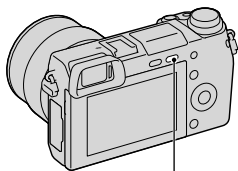
ご注意

- 動画記録中はレンズやカメラの作動音などが記録されてしまうことがあります。
- 電動ズームレンズをお使いの場合、動画記録中のズームリングでの作動音が気になるときはズームレバーでの操作をおすすめします。ズームレバーを動かすときは、レバーに軽く指をかけて、レバーをはじかないように操作してください。
- MENU→［セットアップ］→［動画音声記録］→［切］にすると、音声が記録されないようにできます（56ページ）。
- 1回の連続撮影時間は環境温度や本機の使用状態によって制限されます。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、熱く感じることがありますが故障ではありません。また、「しばらく使用できません カメラの温度が下がるまでお待ちください」という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。

再生する

1 ▶(再生)ボタンを押す。

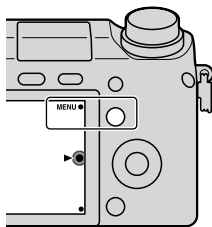
最後に撮影された画像が液晶モニターに表示される。

- 拡大再生するにはコントロールホイールの中央を押す。

画像を選ぶ

コントロールホイールを回して画像を選ぶ。

動画を再生する

1 MENU → [再生] → [静止画/動画切換] → [フォルダービュー(MP4)]または[AVCHDビュー]を選ぶ。

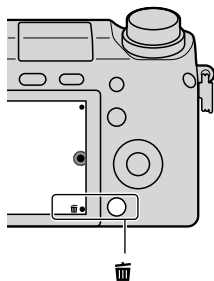
- 静止画再生に戻すには、[フォルダービュー(静止画)]を選ぶ。

2 コントロールホイールを回して再生したい動画を選び、中央を押す。

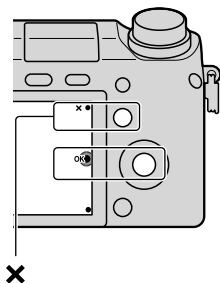
動画再生中にできること	コントロールホイール操作
一時停止/再生	中央を押す
早送り	右を押す、または右に回す
早戻し	左を押す、または左に回す
正方向スロー再生	一時停止中に右に回す
逆方向スロー再生*	一時停止中に左に回す
音量	下→上/下を押す

* 動画はコマ送りになります。

削除する

再生中の画像を削除します。

1 🗑(削除)を押す。

2 コントロールホイールの中央を押す。

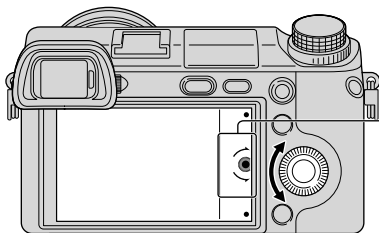
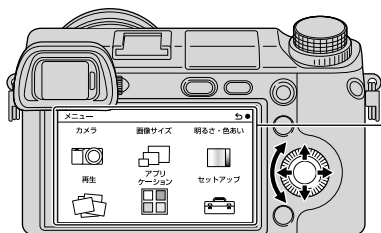
• 削除をやめるには、✕を選ぶ。

複数の画像を削除するときは

MENU→［再生］→［削除］から、画像を選んで削除したり、まとめて削除したりすることができます。

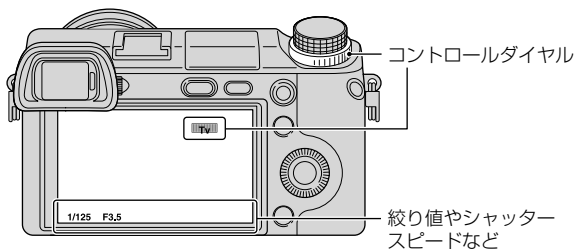
本機の操作方法

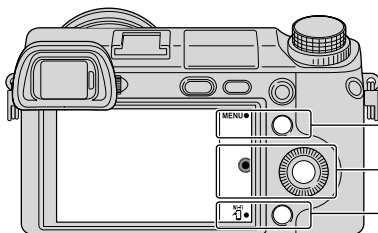
コントロールホイールやコントロールダイヤル、ソフトキーを使って、多くの機能を使いこなすことができます。

コントロールホイール

コントロールホイールには、撮影時にはDISP（画面表示切換）と露出補正、ドライブモード、ISO（ISO感度）機能が、再生時にはDISP（画面表示切換）と（一覧表示）の機能が割り当てられています。また、画面表示に従ってコントロールホイールを回したり、上下左右を押したりすると、項目を選ぶことができます。選んだ項目は、中央を押すと決定されます。

曲線矢印は、コントロールホイールを回すことを示しています。

画面上に選択項目が出ている場合は、コントロールホイールを回したり、上下左右を押したりして項目を移動できます。
中央を押して決定します。

コントロールダイヤル

コントロールダイヤルを回して、絞り値やシャッタースピードなどを設定できます。コントロールダイヤルで変更できる値は、撮影モードによって異なります。

ソフトキー

ソフトキーは目的によって役割が変わります。
何の機能が割り当てられているかは、それぞれ画面に表示されます。
画面右上に表示される機能を使うときはソフトキー Aを、画面右下に表示される機能を使うときはソフトキー Bを押します。中央の機能を使うときは、コントロールホイールの中央を押します（ソフトキー C）。
本書では、画面に表示されているアイコンまたは機能名称でこのソフトキーを表現しています。

この場合、AはMENU（メニュー）ボタンになり、Bは（スマートフォン転送）ボタンになります。

基本操作を覚える

ガイドを参考にして使う

本機は機能の説明を示す「ヘルプガイド」や、撮りかたのコツを紹介する「撮影アドバイス」のガイド機能を搭載しています。
ガイド機能を利用して、本機を使いこなしましょう。

ヘルプガイド

設定を変えたときなど、選んだ機能に関する説明を液晶モニターに表示します。

MENU → ［セットアップ］ → ［ヘルプガイド表示］ → ［切］で、表示しないようにすることもできます。

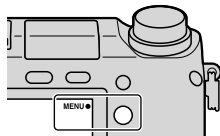
撮影アドバイス

MENU→ ［カメラ］ → ［撮影アドバイス一覧］で撮影に関するコツなどのアドバイスを［目次］から選んで表示することができます。

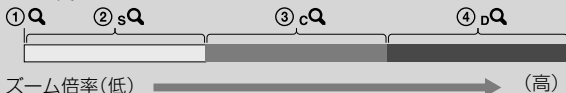
［撮影アドバイス］はAELボタンまたはソフトキー Bに割り当てることもできます。

ズームする

本体側のズームを使って、ズームレンズによる光学ズームの倍率以上に拡大できます。
電動ズームレンズの場合は、光学ズームの操作のまま本体側のズームに移行します。電動ズーム以外のレンズの場合は光学ズームで拡大したあとに以下の手順で本体側のズームを使います。

1 MENU → [カメラ] → [ズーム] → 希望の数値を選ぶ。

本機で使用できる本体側の[ズーム]

本体側の[ズーム]では、いくつかのズームを組み合わせることで、高倍率のズームができます。ズームの種類によって液晶モニターに表示されるアイコンが変わります。

ズーム倍率（低） → （高）

①：本体側の[ズーム]なし（×1.0と表示される）。

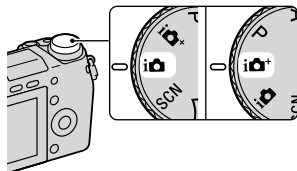
② スマートズーム：画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大する（画像サイズM、Sのときのみ）。

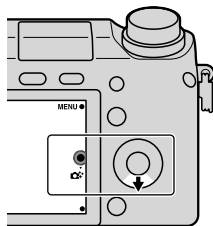
③ 全画素超解像ズーム：より高画質な画像処理により拡大する。

④ デジタルズーム：画像処理により拡大する（お買い上げ時の設定は[切]）。

マイフォトスタイルで設定を変更する

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 **モードダイヤルをi（おまかせオート）またはi+（プレミアムおまかせオート）にする。**

2 **コントロールホイールの下を押す。**

マイフォトスタイルの画面になる。

3 **コントロールホイールの左右で設定を変更する項目を選ぶ。**

（背景ぼかし）：背景のぼかし具合を調整する。

（明るさ）：明るさを調整する。

（色あい）：色あいを調整する。

（鮮やかさ）：鮮やかさを調整する。

（ピクチャーエフェクト）：好みの効果を選んで、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影する。

4 **コントロールホイールを回して希望の設定を選ぶ。**

• 手順3から4を繰り返して、色々な設定を組み合わせることができる。

撮影に便利な機能を使う

ご注意

- マイフォトスタイルは、Eマウントレンズでのみ使用できます。
- マイフォトスタイルは[おまかせオート]または[プレミアムおまかせオート]のときのみ使用できます。

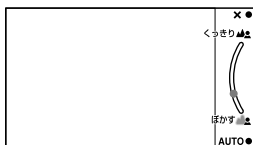
背景ぼかし

1 (背景ぼかし)を選ぶ(33ページ)。

2 コントロールホイールを回して、好みのぼかし具合にする。

：くっきりする。

：ぼける。

- 元に戻すには、AUTOを選ぶ。
- 設定したぼかし具合で動画も撮影できる。

ご注意

- 被写体との距離や使用するレンズによっては効果が得られにくい場合があります。

きれいに背景をぼかすには

- 被写体に近づいて撮影する。
- 被写体とぼかしたい背景との距離を離す。

ピクチャーエフェクト

1 (ピクチャーエフェクト)を選ぶ(33ページ)。

2 コントロールホイールを回して希望の効果を選ぶ。

OFF(切):ピクチャーエフェクトを使わない。

(トイカメラ):周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。

(ポップカラー):色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

(ポスタリゼーション:カラー):原色のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

(ポスタリゼーション:白黒):白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

(レトロフォト):古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

(ソフトハイキー):明るく、透明感や軽さ・優しさ・柔らかさを持ったような仕上がりになる。

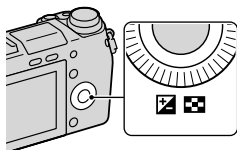
(パートカラー):指定の色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。

(ハイコントラストモノクロ):明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

- MENU → [明るさ・色あい] → [ピクチャーエフェクト]では、より多くの効果を設定できる。

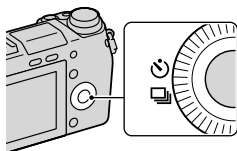
写真の明るさを変える（露出補正）

－3.0EVから＋3.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を調節できます。

1 **コントロールホイールの（露出補正）を押す。**

2 **コントロールホイールまたはコントロールダイヤルを回して好みの設定値を選び、中央を押す。**

- 画像が明るい場合、露出補正を－側にする。
- 画像が暗い場合、露出補正を＋側にする。

セルフタイマーを使う

1 **コントロールホイールの / （ドライブモード）を押す。**

2 **コントロールホイールを回して（セルフタイマー）を選ぶ。**

3 **OPTIONを押して希望のモードを選び、中央を押す。**

（セルフタイマー：10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、撮影が開始される。

（セルフタイマー：2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

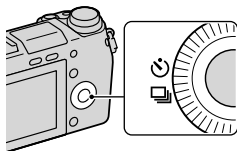
- 解除するには、もう一度 / （ドライブモード）を押す。

セルフタイマーで連写するには

🕖/ ❑(ドライブモード)の🕖C(セルフタイマー（連続）)を選ぶと、10秒後に連写します。

連続して撮る

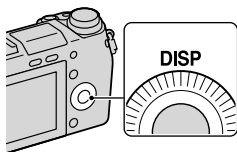
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 **コントロールホイールの🕖/ ❑(ドライブモード)を押す。**

2 **コントロールホイールを回して❑(連続撮影)を選び、中央を押す。**

より高速で連写するには

🕖/ ❑(ドライブモード)の [S]❑(速度優先連続撮影)を選ぶと、さらに速い速度で連写します(毎秒最高約10枚)。

画面の表示を変える（DISP）

1　**コントロールホイールのDISP（画面表示切換）を押す。**

2　**コントロールホイールのDISPを繰り返し押して希望のモードを選ぶ。**

撮影時

グラフィック表示：基本的な撮影情報を表示する。撮影モードが[スイングパノラマ]以外のときは、シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。

全情報表示：撮影情報を表示する。

文字サイズ(大)表示：大きな文字で主要な項目のみを表示する。

情報表示なし：撮影情報を表示しない。

水準器：カメラの前後左右の傾きを指標で示す。

ヒストグラム：画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

ファインダー撮影用：撮影画面に情報のみを表示する。ファインダーを使用して撮影するときに使う。Fn（ファンクション）ボタンを押して設定を変更したい機能を選ぶと、設定変更画面が開く。（クイックナビ）

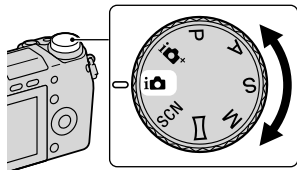
再生時

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

撮影モードを変えて撮る

1 モードダイヤルを回して希望の撮影モードを選ぶ。

i (おまかせオート)：カメラがシーンを自動判別して、オート撮影する。

SCN（シーンセレクション）：撮りたい被写体や環境に適したモードで撮影する。

(スイングパノラマ)：パノラマサイズで撮影する。

M（マニュアル露出）：絞りとシャッタースピードを調節して撮影する。

S（シャッタースピード優先）：シャッタースピードを調整し、動くものの表現を変えて撮影する。

A（絞り優先）：ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影する。

P（プログラムオート）：露出（シャッタースピードと絞り）以外はお好みの設定ができるオート撮影。

i+(プレミアムおまかせオート)：おまかせオートよりも幅広い撮影設定で撮影する。シーンを自動判別し、オートHDRや画像抽出を行う。

シーンセレクション

1 SCN（シーンセレクション）にする（39ページ）。

2 **コントロールホイールを回して希望のモードを選び、中央を押す。**

- ほかのシーンにしたいときは、コントロールダイヤルを回して、選び直す。

（ポートレート）：背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

（風景）：風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

（マクロ）：花や料理などに近づいて撮るときに適している。

（スポーツ）：高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

（夕景）：夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

（夜景ポートレート）：夜景を背景に手前の人物を撮る。フラッシュ発光部を上げて使う。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

（手持ち夜景）：三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

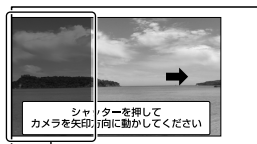
（人物ブレ軽減）：室内で人物撮影する場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録する。

スイングパノラマ

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1　▭(スイングパノラマ)にする(39ページ)。

2　コントロールダイヤルを回して撮影方向を選ぶ。

3　明るさ、ピントを合わせたい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押しする。

撮影されない部分

4　シャッターを半押しした状態で構図の端にカメラを向け、シャッターボタンを深く押し込む。

5　液晶モニター上の矢印方向に、ガイドの終わりまで、カメラを動かす。

ガイド

ご注意

- スイングパノラマ撮影中は連続撮影になり、撮影終了までシャッター音が鳴り続けます。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像はコントロールホイールの中央を押すと、撮影開始から撮影終了まで自動的にスクロールさせて再生できます。もう一度中央を押すと、一時停止します。

全体の中で現在表示されている部分

- 他機で撮影されたパノラマ画像は、実際の撮影サイズと異なって表示されたり、正しくスクロール再生されない場合があります。

シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

1 S（シャッタースピード優先）にする（39ページ）。

2 **コントロールダイヤルを回して希望の数値を選ぶ。**

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まったように見えます。

シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。

絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 A（絞り優先）にする（39ページ）。

2 コントロールダイヤルを回して希望の数値を選ぶ。

- 設定した数値で動画も撮影できる。

プログラムオート/プレミアムおまかせオート

プレミアムおまかせオートは、おまかせオートよりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ撮影を行います。
プログラムオートは、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

1 P（プログラムオート）またはi+（プレミアムおまかせオート）にする（39ページ）。

2 シャッターボタンを押して撮影する。

撮影モード	こんなときに使う
i（おまかせオート）	• カメラまかせでシーン認識をして、何枚も続けて撮影したいとき
P（プログラムオート）	• 露出（シャッタースピードと絞り）以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき
i+（プレミアムおまかせオート）	• 暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき • i（おまかせオート）よりも高画質な画像を撮影したいとき

ご注意

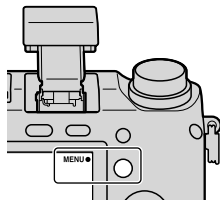
- ［プレミアムおまかせオート］では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。

フラッシュモードを選ぶ

1 **フラッシュを発光させたいときは、⚡(フラッシュポップアップ)ボタンを押してフラッシュ発光部を上げる。**

- 発光させたくないときは手で元の位置に戻す。

⚡(フラッシュポップアップ)ボタン

2 **MENU→[カメラ]→[フラッシュモード]を選ぶ。**

3 **コントロールホイールを回して好みのモードを選び、中央を押す。**

(発光禁止)：フラッシュ発光部を上げていても発光しない。

(自動発光)：光量不足や逆光と判断したとき発光する。

⚡(強制発光)：必ず発光する。

(スローシンクロ)：必ず発光する。被写体だけでなく背景も明るく撮れる。

(後幕シンクロ)：露光が終わる直前のタイミングで発光する。動いている被写体の軌跡が自然な感じに撮れる。

(ワイヤレス)：本機にコントローラー対応外部フラッシュ（別売）を取り付け、別のワイヤレスフラッシュ（別売）を本機から離したところに設置して撮影する。

- 選択可能なフラッシュモードは撮影モードによって異なる(60ページ)。

ご注意

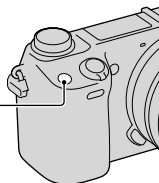
- 液晶モニターの⚡●マークが点滅しているときは、フラッシュ充電中です。このとき、シャッターは切れません。

フラッシュ光の届く距離

フラッシュは、ISO感度と絞り値によってフラッシュ光が届く距離が変わります。

	F2.8	F3.5	F5.6
ISO100	1 m ～ 2.1 m	1 m ～ 1.7 m	1 m ～ 1.1 m
ISO3200	5.6 m ～ 12 m	4.5 m ～ 9.7 m	2.8 m ～ 6 m

Fn（ファンクション）ボタンで設定する

1　Fn（ファンクション）ボタンを押す。

2　コントロールホイールの左右で変更したい機能を選ぶ。

3　コントロールホイールを回して、希望の設定を選ぶ。

Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能を変更するには

お買い上げ時の設定では、Fn（ファンクション）ボタンで以下の機能を設定できます。

Focus（フォーカス切換）/AF MODE（オートフォーカスモード）/（オートフォーカスエリア）/WB（ホワイトバランス）/（測光モード）/（ピクチャーエフェクト）

設定できる機能は変更できます。

MENU → ［セットアップ］ → ［ファンクションメニュー設定］を選ぶ。

AELボタンで明るさを固定する

1 露出(明るさ)を合わせる箇所に、ピントを合わせる。

2 AELボタンを押す。

露出が固定され ✱(AEロック)が点灯する。

3 AELボタンを押したまま、撮影したい被写体にピントを合わせて撮影する。

AELボタンを離してもAEロックが解除されないようにするには

MENU → [セットアップ] → [カスタムキー設定] → [AELボタンの機能] → [再押しAEL]を選ぶ。

画像サイズ/記録設定を変える

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、ビットレートが大きいほど高精細になります。

1 MENU → ［画像サイズ］ → ［画像サイズ］を選ぶ。
動画の場合はMENU → ［画像サイズ］ → ［記録設定］を選ぶ。

2 希望のモードを選ぶ。

動画

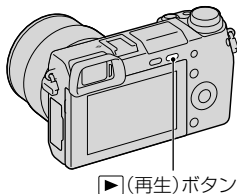
[記録方式]が[AVCHD]のとき		ビットレート	説明
	60i 24M（FX）	最大24 Mbps	1920×1080（60i)の高画質で撮影
✓	60i 17M（FH）	平均17 Mbps	1920×1080（60i)の標準画質で撮影
	60p 28M（PS）	最大28 Mbps	1920×1080 (60p)の最高画質で撮影
	24p 24M（FX）	最大24 Mbps	1920×1080（24p)の高画質で撮影 映画のような雰囲気で記録できる
	24p 17M（FH）	平均17 Mbps	1920×1080（24p)の標準画質で撮影 映画のような雰囲気で記録できる

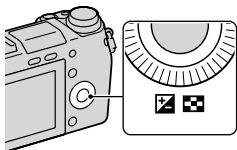
[記録方式]が[MP4]のとき		ビットレート	説明
✓	1440×1080 12M	平均12 Mbps	1440×1080で撮影
	VGA 3M	平均3 Mbps	VGAサイズで撮影

ご注意

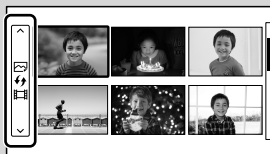
- 16:9で撮影した静止画やパノラマ撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

一覧表示で見る

1　▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする。

2　コントロールホイールの▪(一覧表示)を押す。

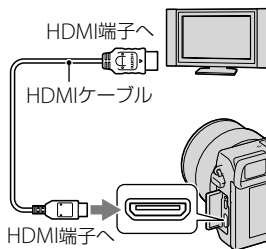
6枚同時に表示される。

3　コントロールホイールを回して画像を選ぶ。

- 1枚再生に戻るには、表示したい画像を選び、中央を押す。

希望のフォルダーを表示する

一覧表示にして、画面左側のバーを選び、コントロールホイールの上下を押して、希望のフォルダーを選びます。コントロールホイールの中央を押すと、静止画と動画を切り換えることができます。

テレビで見る

本機の画像をテレビでみるには、HDMIケーブル(別売)とHDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。

1 **本機とテレビをHDMIケーブル(別売)でつなぐ。**

ご注意

- 本機側はHDMIミニ端子、テレビ側はテレビの端子にあったタイプのHDMIケーブルをお使いください。

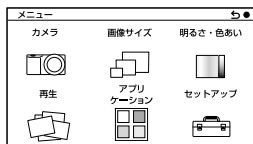
海外で使うときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じ方式(NTSC)のカラーテレビが必要です。

NTSC方式

アメリカ、カナダ、韓国、台湾、メキシコなど

メニュー一覧

MENUを押すと、MENU項目（[カメラ] [画像サイズ] [明るさ・色あい] [再生] [アプリケーション][セットアップ]）が表示されます。
それぞれの項目の中で、いろいろな機能が設定できます。そのときに設定できない機能はグレーで表示されます。

カメラ

連続撮影、セルフタイマー、フラッシュ発光などの撮影設定を行います。

ドライブモード	連写、セルフタイマー、ブラケットなどを設定する。 （1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/セルフタイマー /セルフタイマー（連続）/連続ブラケット/リモコン）
フラッシュモード	発光方式を選ぶ。 （発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/後幕シンクロ/ワイヤレス）
フォーカス切換	ピント合わせの方法を、自動か手動か選ぶ。 （オートフォーカス/DMF/マニュアルフォーカス）
オートフォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 （マルチ/中央重点/フレキシブルスポット）
オートフォーカスモード	ピント合わせの方法を選ぶ。 （シングル/コンティニュアス）
被写体追尾	被写体を追尾して自動でピントを合わせ続ける。
ズーム	本体側のズームの倍率を設定する。
顔検出	人の顔を自動でとらえ、ピントや露出を合わせるための設定をする。 （入（登録顔優先）/入/切）

個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録や編集を行う。 （新規登録/優先順序変更/削除/全て削除）
スマイルシャッター	笑顔をとらえるたびに、自動的に撮影する。 （切/入）
オートポートレートフレーミング	人物撮影時にシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 （切/オート）
美肌効果	顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する。 （入/切）
撮影アドバイス一覧	すべての撮影アドバイスを見る。
背面モニター表示（DISP）	液晶モニターの撮影画面に表示する情報を切り換える。 （グラフィック表示/全情報表示/文字サイズ（大）表示/情報表示なし/水準器/ヒストグラム/ファインダー撮影用）
ファインダー表示（DISP）	ファインダーの撮影画面に表示する情報を切り換える。 （基本情報表示/水準器/ヒストグラム）
DISPボタン（背面モニター）	DISPボタンを押して液晶モニターに表示される情報の種別を設定する。 （グラフィック表示/全情報表示/文字サイズ（大）表示/情報表示なし/水準器/ヒストグラム/ファインダー撮影用）

本機の機能を確認する

画像サイズ

画像サイズや横縦比などを設定します。

静止画	
画像サイズ	画像サイズを設定する。 （3:2：L: 16M/M: 8.4M/S: 4.0M） （16:9：L: 14M/M: 7.1M/S: 3.4M）
横縦比	横縦の比率を選ぶ。 （3:2/16:9）
画質	圧縮率を選ぶ。 （RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード）

パノラマ	
画像サイズ	パノラマ撮影時の画像サイズを設定する。 （標準/ワイド）
パノラマ撮影方向	パノラマ撮影時、カメラを動かす方向を選ぶ。 （右/左/上/下）
動画	
記録方式	AVCHDかMP4かを選ぶ。
記録設定	動画の画像サイズとフレームレート、画質を選ぶ。 （AVCHD時：60i 24M（FX）/60i 17M（FH）/60p 28M（PS）/24p 24M（FX）/24p 17M（FH）） （MP4時：1440×1080 12M/VGA 3M）

明るさ・色あい

測光などの明るさに関する設定や、ホワイトバランスなど色あいに関する設定を行います。

露出補正	画像全体の明るさを補正する。 （−3.0EV ～＋3.0EV）
ISO感度	明るさに対する感度を設定する。 （ISO AUTO/100 ～ 25600）
ホワイトバランス	光源に合わせて画像の色あいを調整する。 （オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯：温白色/蛍光灯：白色/蛍光灯：昼白色/蛍光灯：昼光色/フラッシュ /色温度・カラーフィルター /カスタム/カスタムセット）
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 （マルチ/中央重点/スポット）
調光補正	フラッシュ発光量を調整する。 （−2.0EV ～＋2.0EV）
DRO/オートHDR	明るさやコントラストを自動補正する。 （切/Dレンジオプティマイザー /オートHDR）
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。 （切/トイカメラ/ポップカラー /ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー /パートカラー /ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア）

クリエイティブスタイル	画像の仕上がり具合を選ぶ。 （スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/夕景/白黒）

再生

再生機能の設定をします。

削除	画像を削除する。 （画像選択/フォルダー内全て/AVCHDビュー動画全て）
静止画/動画切換	再生する画像のグルーピング方法（ビューモード）を設定する。 （フォルダービュー（静止画）/フォルダービュー（MP4）/AVCHDビュー）
スライドショー	画像を自動再生する。 （リピート/間隔設定/画像種別）
スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。 （この画像/この日の画像全て/カメラ内の画像全て）
パソコン保存	本機の画像をネットワークに繋がれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ観賞	本機の画像をネットワークに繋がれたテレビに転送し、再生する。
プリント指定	プリントする画像の指定や設定を行う。 （DPOF指定/日付プリント）
一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。 （6枚/12枚）
⊕拡大	画像を拡大する。
回転	画像を回転する。
プロテクト	画像の保護、解除の設定をする。 （画像選択/静止画全て解除/動画（MP4）全て解除/AVCHDビュー動画全て解除）
音量設定	動画の音量を設定する。
画面表示切換（DISP）	再生画面に表示する情報を切り換える。 （情報表示あり/ヒストグラム/情報表示なし）

アプリケーション

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト「PlayMemories Camera Apps」に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

セットアップ

撮影の詳細な設定や、カメラ全体に関する設定を行います。

撮影設定	
シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。 （入/切）
AF補助光	暗い場所でピントを合わせるための補助光を設定する。 （オート/切）
位相差AFエリア表示	位相差AF測距点の表示を設定する。 （入/切）
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを防ぐために、プリ発光する。 （入/切）
FINDER/LCD切換設定	電子ビューファインダーと液晶モニターの表示切り換え方法を設定する。 （オート/ファインダー /モニター）
ライブビュー表示	画面表示に露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 （設定効果反映On/設定効果反映Off）
オートレビュー	撮影直後、撮った画像を表示する時間を設定する。 （10秒/5秒/2秒/切）
グリッドライン	構図合わせのための補助線（グリッドライン）を表示する。 （3分割/方眼/対角＋方眼/切）
ピーキングレベル	ピントが合っている部分の輪郭を指定した色で表示する。 （高/中/低/切）
ピーキング色	輪郭を強調するピーキング表示の色を設定する。 （ホワイト/レッド/イエロー）

撮影設定	
全画素超解像ズーム	デジタルズームよりも高画質でズームする。 （入/切）
デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上の倍率でズームできる。 動画撮影時でもズームできる。 （入/切）
プレミアムオート画像抽出	［プレミアムおまかせオート］時に複数枚撮影した画像をすべて保存するかどうかを設定する。 （オート/切）
MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 （入/切）
MFアシスト時間	［MFアシスト］機能で拡大表示する時間を設定する。 （無制限/5秒/2秒）
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 （sRGB/AdobeRGB）
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 （入/切）
レンズなし時のレリーズ	レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうか設定する。 （許可/禁止）
アイスタートAF	マウントアダプター LA-EA2（別売）装着時、電子ビューファインダーをのぞくと同時にオートフォーカスするかどうかを設定する。 （入/切）
電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 （入/切）
長秒時ノイズリダクション	長時間露光時のノイズ軽減処理を設定する。 （入/切）
高感度ノイズリダクション	高感度撮影時のノイズ軽減処理を設定する。 （標準/弱）
レンズ補正（周辺光量）	画面周辺が暗くなるのを補正する。 （オート/切）
レンズ補正（倍率色収差）	画面周辺部の色のずれを軽減する。 （オート/切）
レンズ補正（歪曲収差）	画面の歪みを補正する。 （オート/切）

撮影設定	
顔優先追尾	被写体追尾時に人の顔を優先して追尾するかどうかを設定する。 （入/切）
オートスローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 （入/切）
動画音声記録	動画撮影時の音声を記録するかどうかを設定する。 （入/切）
風音低減	動画撮影時の風音を低減する。 （入/切）
AF微調整	マウントアダプター LA-EA2（別売）装着時、オートフォーカスでのピント位置を微調整する。 （AF微調整設定/調整値/調整値クリア）

本体設定	
メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。 （先頭/前回位置）
ファンクションメニュー設定	Fn（ファンクション）ボタンを押したときの機能を設定する。
MOVIE（動画）ボタン	MOVIEボタンの有効/無効を設定する。 （入/切）
カスタムキー設定	ソフトキーやAELボタンに機能を設定する。 （AELボタンの機能/ソフトキー Bの設定）
操作音	操作時の音を設定する。 （入/切）
日時設定	日時を設定する。
エリア設定	本機を使うエリアを選ぶ。
ヘルプガイド表示	ヘルプガイドを表示/非表示する。 （入/切）
パワーセーブ	省電力にする設定を行う。 （強/標準）
パワーセーブ開始時間	省電力モードになる時間を設定する。 （30分/5分/1分/20秒/10秒）
モニター明るさ	液晶モニターの明るさを調節する。 （マニュアル/屋外晴天）

本体設定	
ファインダー明るさ	電子ビューファインダーの明るさを調節する。 （オート/マニュアル）
画面色	液晶モニターの色を選ぶ。 （ブラック/ホワイト/ブルー /ピンク）
ワイド画像	ワイド画像の表示方法を設定する。 （フル/標準）
縦記録画像の再生	縦位置で撮影した画像の再生方法を選ぶ。 （縦向き/横向き）
HDMI解像度	HDMI対応テレビ接続時の解像度を設定する。 （オート/1080p/1080i）
HDMI機器制御	ブラビアリンク対応テレビから本機を操作するための設定をする。 （入/切）
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせてUSB接続の方法を設定する。 （オート/マスストレージ/MTP）
クリーニングモード	イメージセンサーをクリーニングする。
バージョン表示	本機およびレンズ/マウントアダプターのバージョンを表示する。
デモモード	動画再生のデモンストレーションを設定する。 （入/切）
設定リセット	設定を初期値に戻す。 （設定値リセット/工場出荷時設定）
メモリーカードツール	
フォーマット	メモリーカードを初期化する。
ファイル番号	静止画とMP4動画のファイル番号の付けかたを設定する。 （連番/リセット）
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダー名の付けかたを設定する。 （標準形式/日付形式）
撮影フォルダー選択	静止画とMP4動画を保存するフォルダーを選ぶ。
フォルダー新規作成	静止画とMP4動画を記録する新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像を管理するファイルに異常が発生したときに修復する。

メモリーカードツール	
メモリーカード残量表示	動画の撮影可能時間および静止画の撮影可能枚数を表示する。
Eye-Fiセットアップ*	
アップロード設定	Eye-Fiカードを利用した本機のアップロード機能を設定する。 （入/切）
ネットワーク設定	
アクセスポイント簡単登録	WPSボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
スマートフォン転送リセット	スマートフォン転送の接続情報をリセットする。
ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定を初期値に戻す。

* Eye-Fiカード挿入時のみ表示されます。
飛行機の中ではEye-Fiカードを本機に挿入しないでください。挿入している場合は[アップロード設定]を[切]にしてください。
Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

撮影モードごとの設定可能機能

選んでいる撮影モードによって、設定できない機能があります。

○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

設定できない機能はグレーで表示されます。

撮影モード		露出補正	セルフタイマー	連続撮影	顔検出	ピクチャーエフェクト
(おまかせオート)		×	○	○	○	×
SCN(シーンセレクション)		×	○	×	○	×
		×	○	○	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	×	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	×	×	○	×
(スイングパノラマ)		○	×	×	×	×
M(マニュアル露出)		×	○	○	○	○
S(シャッタースピード優先)		○	○	○	○	○
A(絞り優先)		○	○	○	○	○
P(プログラムオート)		○	○	○	○	○
(プレミアムおまかせオート)		×	○	○	○	×

ご注意

- 撮影モード以外の条件にも制限される場合があります。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

○は対応可能、×は対応不可能を表しています。

選べないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード		発光禁止	自動発光	強制発光	スローシンクロ	後幕シンクロ	ワイヤレス
i（おまかせオート）		○	○	○	×	×	×
SCN（シーンセレクション）		○	○	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	○	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	×	○	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
		×	○*	×	×	×	×
		○	×	×	×	×	×
（スイングパノラマ）		○	×	×	×	×	×
M（マニュアル露出）		×	×	○	○	○	○**
S（シャッタースピード優先）		×	×	○	○	○	○**
A（絞り優先）		×	×	○	○	○	○**
P（プログラムオート）		×	×	○	○	○	○**
i+（プレミアムおまかせオート）		○	○	○	×	×	×

* 発光する場合はスローシンクロで発光します。

** 内蔵フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影できません。

ご注意

- フラッシュモードは上記の撮影モード以外の条件にも制限される場合があります。
- 発光するモードにしていても、フラッシュ発光部を上げていないと発光しません。

ソフトウェアをインストールする

本機で撮影した画像をいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には以下のソフトウェアが収録されています。

- 「Image Data Converter」
  RAW画像を現像できます。
- 「PlayMemories Home」（Windowsのみ）
  撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- RAW画像を再生する場合は「Image Data Converter」をご利用ください。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェア「PMB」（Picture Motion Browser）がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で使えていた機能の一部はご使用いただけなくなります。
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応しておりません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

Windows

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
「PlayMemories Home」使用時	**CPU：**Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上 HD動画再生・編集時はIntel Core Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上（Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上（AVC HD（FX/FH）、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上（AVC HD PS）） **メモリー：**Windows XP 512 MB以上（1 GB以上を推奨）Windows Vista/Windows 7 1 GB以上 **インストール時に必要なハードディスク容量：**約500 MB **ディスプレイ：**1024×768ドット以上
「Image Data Converter Ver.4」使用時	**CPU/メモリー：**Pentium 4以上/1 GB以上 **ディスプレイ：**1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0以上が必要です。

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→（PMHOME）→[Install.exe]の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 カメラとパソコンを接続する。

3 [インストール]をクリックする。

- 「Image Data Converter」と「PlayMemories Home」にチェックが入っていることを確認して、画面の表示に従ってインストールする。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

4 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

下記のソフトウェアがインストールされ、デスクトップにショートカットが表示される。

「Image Data Converter」

「PlayMemories Home」

「PlayMemories Homeヘルプガイド」

Mac

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続**：Mac OS X v10.3-v10.8 **「Image Data Converter」**：Mac OS X v10.5-v10.8
「Image Data Converter Ver.4」使用時	**CPU**：Intel Core Solo/Core Duo/Core2 Duoなどのインテルプロセッサー **メモリ**：1 GB以上を推奨 **ディスプレイ**：1024×768ドット以上

1 Macの電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる。

2 CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

3 ［MAC］フォルダの中の［IDC_INST.pkg］を任意のフォルダにコピーする。

4 コピー先のフォルダの中の［IDC_INST.pkg］をダブルクリックする。

- 以降、画面の指示に従ってインストールを進め、完了する。

付属のソフトウェアでできること

「PlayMemories Home」

次のことなどができます。

- 本機で撮影した画像のパソコンへの取り込み、表示
- 画像の切り抜き（トリミング）、サイズ変更（リサイズ）
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧
- 静止画の補正（赤目補正など）、プリント、メール送信、撮影日時の変更
- 画像に日付を挿入して保存、印刷
- パソコンに取り込んだAVCHD動画から、ブルーレイディスク、AVCHDディスク、またはDVD-Videoディスクの作成（ブルーレイディスク、DVD-Videoディスクの初回作成時には、インターネット接続環境が必要）

詳しい使いかたは「PlayMemories Homeヘルプガイド」をご覧ください。
デスクトップ上の（PlayMemories Homeヘルプガイド）をダブルクリック、または[スタート]→[すべてのプログラム]→[PlayMemories Home] → [PlayMemories Homeヘルプガイド]

「PlayMemories Home」のサポート情報
http://www.sony.co.jp/pmh-sj/

ご注意

- 「PlayMemories Home」は、Macには対応しておりません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。
- [記録設定]を[60p 28M(PS)]または[60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)]にして撮影した動画は、「PlayMemories Home」でのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

「Image Data Converter」

次のことなどができます。

- RAW画像を再生し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの画像の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存
  RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

詳しい使いかたはヘルプをご覧ください。
［スタート］→［すべてのプログラム］→［Image Data Converter］→［ヘルプ］→［Image Data Converter Ver.4］

「Image Data Converter」のサポート情報
http://www.sony.co.jp/ids-sj/

カメラに機能を追加する

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト（PlayMemories Camera Apps）に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。以下のような機能などを追加できます。

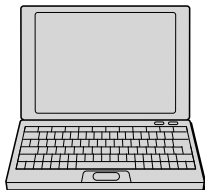
- スマートフォンでカメラをコントロール
- 多彩なエフェクトで撮影
- ネットワークサービスに直接アップロード

有料のアプリケーションもあります。

ダウンロードサービスをはじめる

1 **アプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。**

http://www.sony.net/pmca

- Windowsの場合はInternet Explorer8または9を、Macの場合はSafari5のブラウザを使う。

2 **画面の指示に従って、サービスアカウントを取得する。**

- 引き続きアプリケーションをダウンロードする場合は、画面の指示に従って本機にダウンロードする。

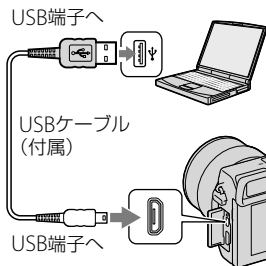
アプリケーションをダウンロードする

1 **アプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。**

http://www.sony.net/pmca

- Windowsの場合はInternet Explorer8または9を、Macの場合はSafari5のブラウザを使う。

2 **お好みのアプリケーションを選び、画面の指示に従って本機にアプリケーションをダウンロードする。**

- 画面の指示に従って、パソコンと本機をマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

本機のWi-Fi機能で直接ダウンロードするには

Wi-Fi機能を使って、パソコンを使用せずにダウンロードすることもできます。

MENU → ［アプリケーション］ → (PlayMemories Camera Apps) を選び、画面の指示に従ってダウンロードしてください。

あらかじめサービスアカウントを取得してください(66ページ)。

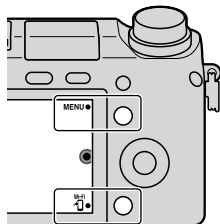
ダウンロードしたアプリケーションを起動する

1 **MENU → ［アプリケーション］ → 希望のアプリケーションを選んで起動する。**

スマートフォンに転送する

スマートフォンに静止画を転送・表示します。スマートフォンの対応アプリ「PlayMemories Mobile」を、お手持ちのスマートフォンのアプリケーションストアからダウンロードしてご利用ください。

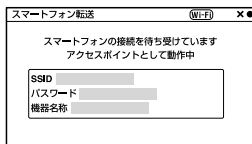
1 Wi-Fi（スマートフォン転送）を押して好みのモードを選ぶ。

- ソフトキー Bに他の機能が割り当てられている場合は、MENU → ［再生］から［スマートフォン転送］を選ぶ。

この画像：直前に撮影、または再生した画像をスマートフォンに表示する。

この日の画像全て：直前に撮影、または再生した画像と同じ日付内のすべての静止画を、まとめてスマートフォンに表示する。

カメラ内の画像全て：カメラ内のすべての静止画をまとめてスマートフォンに表示する。

2 転送可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンからカメラに接続する。

- スマートフォンの操作は「α ハンドブック」をご覧ください。

ご注意

- 画像の形式によってはスマートフォンで再生できないことがあります。
- 本機は[スマートフォン転送]の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU → [セットアップ] → [スマートフォン転送リセット]で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再登録が必要です。

ネットワークに接続する

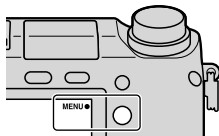
Wi-Fiを使用すれば、ネットワークに接続して、本機の画像を他機器に表示することができます。お使いの無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントによって、設定手順は異なります。

- ご自宅などで、既にネットワークにつながれたパソコンやテレビが必要です。
- 必ずお使いの無線LANアクセスポイントエリア(受信できる場所)で設定してください。

以下の表でアクセスポイントの登録方法を確認してください。

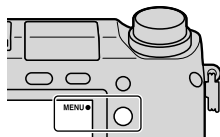
アクセスポイント	登録方法
WPSプッシュボタン方式に対応しており、WPSボタンがある。	[アクセスポイント簡単登録]を行う。
上記以外	[アクセスポイント手動登録]を行う。

アクセスポイント簡単登録

1 **MENU → [セットアップ] → [アクセスポイント簡単登録]を選ぶ。**

2 **登録したいアクセスポイントのWPSボタンを押す。**

アクセスポイントとの通信が始まる。

アクセスポイント手動登録

1 MENU → ［セットアップ］ → ［アクセスポイント手動登録］を選ぶ。

2 登録したいアクセスポイントを選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示される場合：
アクセスポイント名を選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合：
［手動設定］を選び、画面に従ってアクセスポイントを設定する。

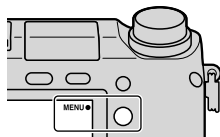
- 詳しくは「αハンドブック」をご覧ください。

ご注意

- 飛行機の中では、本機の電源をお切りください。

パソコンに保存する

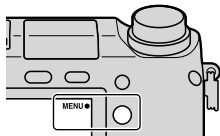
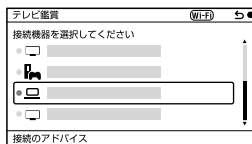
本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに保存できます。事前に「PlayMemories Home」をインストールしたパソコンに本機をUSB接続して、「PlayMemories Home」に本機を登録してください。

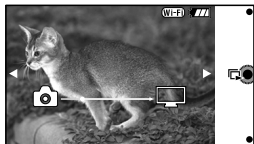
1 MENU → ［再生］ → ［パソコン保存］を選ぶ。

ご注意

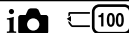
- パソコンのアプリケーションの設定によっては、画像の保存が終わった後にカメラの電源が自動で切れます。

テレビで鑑賞する

本機とテレビをケーブルでつながなくても、本機から画像を転送して、Network対応のテレビで画像を見ることができます。

1 **MENU → ［再生］ → ［テレビ鑑賞］を選ぶ。**

2 **接続したい機器を選ぶ。**

3 **スライドショー形式で再生したい場合は、コントロールホイールの中央を押す。**

- 手動で画像を送る場合は、コントロールホイールの左右を押す。
- 接続する機器を変更する場合は、OPTIONを押して、［機器リスト］を選ぶ。

撮影可能枚数を確認する

メモリーカードを入れて電源スイッチを「ON」にすると、液晶モニターに、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」で黄色く点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください（27ページ）。
- 撮影可能枚数が「NO CARD」で黄色く点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数/時間

静止画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況によって記録可能枚数は異なります。

画像サイズ：L 16M

横縦比3:2のとき*

（単位：枚）

画質 ＼ 容量	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	410	820	1650	3350	6700	13000
ファイン	290	590	1150	2400	4800	9600
RAW+JPEG	79	160	320	640	1300	2600
RAW	105	215	440	880	1750	3550

* ［横縦比］を［16:9］に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（［RAW］設定時は除く）。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

記録設定＼容量	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
60i 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
60i 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
60p 28M（PS）	9分	15分	35分	1時間 15分	2時間 30分	5時間 5分
24p 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
24p 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
1440×1080 12M	20分	40分	1時間 20分	2時間 45分	5時間 30分	11時間 5分
VGA 3M	1時間 10分	2時間 25分	4時間 55分	10時間	20時間 5分	40時間 15分

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 連続動画撮影時間は温度環境や動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には短くなります。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまま数分間放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
  - できるだけ直射日光を避ける
  - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、[記録方式]が[MP4]の場合は、自動的に記録が止まり、[記録方式]が[AVCHD]の場合は、自動的に新しいファイルが作成されます。
- 動画の連続撮影は最長でも約29分で停止します。

1つのバッテリーで撮影できる枚数

充電したバッテリー（付属）で撮影できる枚数の目安は以下のとおりです。使用状況によって撮影可能枚数は異なります。

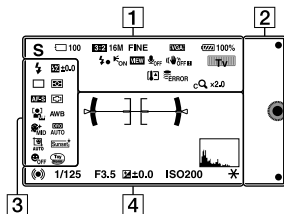
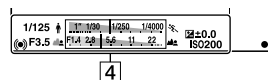
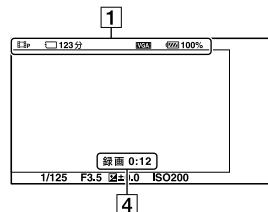
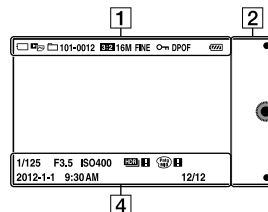
液晶モニターモード時	約360枚
ファインダーモード時	約270枚

- 充電したバッテリーを使い、下記の条件で測定した数値です。
  – 温度が25℃
  – E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSレンズ使用時
  – [画質]が[ファイン]
  – [オートフォーカスモード]が[シングル]
  – 30秒ごとに1回撮影
  – 2回に1度、フラッシュを発光する
  – 10回に1度、電源を入/切する
  – 充電ランプ消灯後、約1時間充電
  – 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（別売）使用時
- 測定方法はCIPA規格による。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）

画面表示一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールホイールのDISP（画面表示切換）で、液晶モニターの表示を切り換えられます。

撮影スタンバイ時

1

表示	意味
P A S M AUTO P A S M	撮影モード
	シーンセレクション
	おまかせシーン認識マーク
OFF	メモリーカード/アップロード
100	静止画撮影可能枚数
123分	動画の撮影可能時間
3:2 16:9	静止画の横縦比
16M 14M 8.4M 7.1M 4M 3.4M WIDE STD	静止画の画像サイズ
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質

その他

表示	意味
60i FX 60i FH 60p PS 24p FX 24p FH 1080 VGA	動画の記録設定
100%	バッテリー容量
	フラッシュ充電表示
ON	AF補助光
VIEW	ライブビュー表示
OFF	動画音声記録オフ
	風音低減オン
OFF OFF ON ON	手ブレ補正/手ブレ警告
P* Tv Av	コントロールダイヤル
	温度上昇警告
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
W T	ズーム倍率
S ×2.0	スマートズーム
C ×2.0	全画素超解像ズーム
D ×2.0	デジタルズーム
MP4 AVCHD	ビューモード
101-0012	再生フォルダー -ファイル番号
	プロテクト
DPOF	プリント予約
Wi-Fi	Wi-Fi電波放射中

2

表示	意味
	ソフトキー

3

表示	意味
AUTO SLOW REAR WL	フラッシュモード/赤目軽減発光
±0.0	調光補正
S 10 2 C3 C5 BRK C 0.3EV BRK C 0.7EV	ドライブモード
	測光モード
DMF AF-S AF-C MF	フォーカスモード
	フォーカスエリアモード
OFF ON	顔検出
AWB -1 0 +1 +2 WB 7500K A7 G7	ホワイトバランス
HI MID LO OFF	美肌効果
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	DRO/オートHDR
AUTO OFF	オートポートレートフレーミング
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W	クリエイティブスタイル

表示	意味
☻ON ☻OFF ☻ON ☻ON	スマイルシャッター
Pos Pop Rtro Part R Sfth key HC BW Toy Norm Soft Mid Pntg Mid Rich BW Mini AUTO OFF	ピクチャーエフェクト
[☻]	スマイル検出感度インジケーター

表示	意味
録画 0:12	動画の記録時間（分：秒）
2012-1-1 9:30AM	画像の記録日時
12/12	画像番号/ビューモード内画像数
HDR !	オートHDR処理警告
Pntg MID ! Rich BW !	ピクチャーエフェクトエラー
	ヒストグラム

4

表示	意味
	水準器
	位相差AF測距点
● (●) ( )	フォーカス状況
1/125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
M.M. **±0.0**	メータードマニュアル
±0.0 -3··2··1··0··1··2··3+	露出補正
ISO400	ISO感度
✱	AEロック
1" 1/30 1/250 1/4000	シャッタースピードインジケーター
F1.4 2.8 5.6 11 22	絞りインジケーター

その他

もっと詳しく知りたい(αハンドブック)

「αハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「αハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [ハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] → [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 79 ～ 83ページの項目をチェックする。また、「αハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（57ページ）。

❹ 「α」専用サポートサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/

❺ 相談窓口に電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの先端でロックレバーを押しながら入れてください（11ページ）。
- バッテリーはNP-FW50のみ使用できます。NP-FW50か確認してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（11ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（11ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（11ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力状態（パワーセーブ）になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- バッテリーはNP-FW50のみ使用できます。NP-FW50か確認してください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の充電ランプが点滅することがまれにあります。
- 点滅パターンは、速い点滅（約0.3秒）と遅い点滅（約1.3秒）の2種類があります。速い点滅のときは、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付ける、またはUSBケーブルを一度抜いてから接続し直してください。再び速い点滅をしたときは、バッテリーの異常またはACアダプター（付属）やUSBケーブルの不具合が考えられます。遅い点滅のときは、充電に適していない温度で充電しているため、充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開し、本機の充電ランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

本機の充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。

バッテリーが充電されない。

- 充電操作を行ってもバッテリーが充電されない（充電ランプが一度も点灯しない）場合は、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付ける、またはUSBケーブルを一度抜いてから接続し直してください。

撮影する

電源を入れても液晶モニターがつかない。

- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力状態（パワーセーブ）になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

シャッターが切れない。

- メモリーカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。
- メモリーカードの空き容量を確認してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- レンズが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください（16ページ）。

撮影に時間がかかる。

- ノイズ軽減処理機能が働いています。故障ではありません。
- RAWモードで撮影しています。RAWモードでの撮影はデータ量が大きいため、撮影に多少時間がかかる場合があります。
- オートHDR処理中です。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。
- マニュアルフォーカスになっています。[フォーカス切換]を[オートフォーカス]にしてください。
- 光量が不足しています。
- オートフォーカスの苦手な被写体を撮ろうとしています。[フレキシブルスポット]またはマニュアルフォーカス撮影を行ってください。

フラッシュ撮影ができない。

- ⚡（フラッシュポップアップボタン）を押して、フラッシュ発光部を上げてください（44ページ）。
- 以下の撮影時は、フラッシュを使えません。
  - [連続ブラケット]
  - [スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]の[夜景][手持ち夜景][人物ブレ軽減]
  - 動画撮影

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- 空気中のほこりがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

フラッシュの充電時間が長い。

- 短時間に連続してフラッシュを発光させています。連続してフラッシュを発光すると、フラッシュ部が熱くなるのを防ぐため、通常より充電時間が長くなることがあります。

フラッシュ撮影した画像が全体的に暗い。

- フラッシュの調光距離（フラッシュ光の届く距離）より撮影距離が遠い場合は、フラッシュ光が被写体に届かずに暗い画像となります。また、ISO感度を変更するとフラッシュの調光距離も変化します（45ページ）。

正しい撮影日時が記録されない。

- 日付・時刻を合わせてください（21ページ）。
- エリア設定で現在地と異なる場所が設定されています。MENU→［セットアップ］→［エリア設定］で設定し直してください。

絞り値、シャッタースピードが点滅する。

- 被写体が明るすぎる、または暗すぎるため、本機の調整範囲を超えています。設定し直してください。

画像が白っぽくなる（フレア）。光のにじみが現れる（ゴースト）。

- 逆光で撮影したため、レンズに余分な光が入っています。ズームレンズ使用時は、レンズフードを取り付けてください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合（光量低下）があります。この場合は［レンズ補正（周辺光量）］機能を使用することをおすすめします。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにしてください。
- 被写体に近づいてフラッシュ調光距離内(45ページ)で撮影してください。

液晶モニターに点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません(84ページ)。

画像がブレる。

- 暗いところでフラッシュを使わずに撮影したので、手ブレを起こしています。シャッタースピードが遅くなるので、三脚またはフラッシュの使用をおすすめします(44ページ)。[シーンセレクション]の[手持ち夜景][人物ブレ軽減](40ページ)も効果的です。

液晶モニターやファインダー内の露出補正値が点滅する。

- 被写体が明る過ぎる、または暗過ぎて、本機の測光範囲を超えています。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するには、「PlayMemories Home」を使って画像をコピーしてください。

使用上のご注意

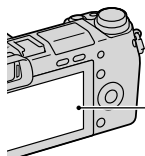
表示言語について

本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

液晶モニターおよびレンズについてのご注意

- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。また、初めは画面が通常よりも少し暗くなります。
- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するように設計されたソニー製レンズ/アクセサリーのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

マルチインターフェースシューについてのご注意

- フラッシュなどのアクセサリーを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取り外しする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、最後まで差し込んでからネジを締め、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- シンクロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用すると故障の原因になりますので使わないでください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

保管方法

使用しないときは、必ずレンズフロントキャップを付けてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～ 40℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露を起こしにくくするために

本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからお使いください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（付属）を使ってコンセントにつないで、本機の電源を切ったまま24時間以上放置してください。

メモリーカードについて

メモリーカードおよびカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。故障の原因になります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[削除]では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

撮影・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合は、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影や消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](57ページ)を行ってください。
- 万一、カメラやメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピー(バックアップ)をおとりください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- カメラを太陽など強い光源へ向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（86ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れやゴミは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。発光による熱でフラッシュ表面の付着物が発煙したり、焦げる場合があります。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。メモリーカードなどを飲みこむおそれがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合はCD-ROM（付属）に収録されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使用してください。

RAW画像について

本機で撮影したRAW画像を開くにはCD-ROM（付属）の「Image Data Converter」が必要です。パソコンでの加工を予定していない場合はJPEG形式での撮影をおすすめします。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。
  このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  –High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  –AVCHD規格非対応の機器
  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。
  このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、次のページの事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

飛行機に搭乗中のご注意

飛行機の中では、本機の電源をお切りください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25℃)、充電ランプ消灯後、約1時間充電したバッテリー使用時のものです。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ：レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ：Eマウントレンズ

[撮像部]

イメージセンサー：APS-Cサイズ（23.5 mm × 15.6 mm）、CMOSイメージセンサー
総画素数：約16 700 000画素
カメラ有効画素数：約16 100 000画素

[アンチダスト]

システム：帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

[オートフォーカス]

形式：ファストハイブリッドAF（位相差検出方式/コントラスト検出方式）
検出輝度範囲：EV0 ～ EV20（ISO 100相当、F2.8レンズ使用）

[露出制御]

測光方式：イメージセンサーによる1 200分割測光
測光範囲：EV0 ～ EV20（ISO 100相当、F2.8レンズ使用）
ISO感度（推奨露光指数）：
静止画撮影時：AUTO、ISO100 ～ 25 600
動画撮影時：AUTO、ISO100 ～ 6 400相当
露出補正：±3.0EV（1/3段ステップ）

[シャッター]

形式：電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード範囲：
静止画撮影時：1/4 000秒～ 30秒、バルブ
動画撮影時：1/4 000秒～ 1/4秒 (1/3段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで（オートスローシャッター時は1/30秒まで）
フラッシュ同調速度：1/160秒

[記録メディア]

“メモリースティック PRO デュオ”、SDカード

[ファインダー]

形式：電子式ビューファインダー
画面サイズ：1.3 cm（0.5型）
総ドット数：2 359 296ドット
視野率：100%
倍率：1.09倍（50 mmレンズ、無限遠、視度－1 m^{-1}時）
アイポイント：最終光学面から約23 mm、接眼枠から約21 mm（視度－1 m^{-1}時）
視度調整：－4.0 m^{-1} ～＋1.0 m^{-1}（ディオプター）

[液晶モニター]

形式：7.5 cm（3.0型）ワイド TFT駆動
ドット数：921 600ドット

[入出力端子]

USB端子：マイクロUSBタイプB
HDMI端子：HDMIタイプCミニ端子

[電源]

バッテリー：リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

[消費電力]

E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS*使用時
ファインダー使用時：約3.3 W
液晶モニター使用時：約2.5 W
*NEX-6L/NEX-6Yに付属

[その他]

Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
DPOF：対応
外形寸法（CIPA準拠）：
約119.9 mm×66.9 mm×42.6 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）：
約345 g（バッテリー、“メモリースティック PRO デュオ”を含む）
約287 g（本体のみ）
動作温度：0℃～ 40℃

記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline）準拠、RAW（ソニーARW 2.3フォーマット）
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格 Ver.2.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
USB通信：Hi-Speed USB（USB2.0）

［フラッシュ］

ガイドナンバー：6（ISO100・m）
充電時間：約4秒
照射角：16mmレンズをカバー（レンズ表記の焦点距離）
調光補正：±2.0EV（1/3段ステップ）

［ワイヤレスLAN］

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、70 mA
定格出力：DC 5 V、0.5 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約50 mm×22 mm×54 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約48 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 8.4 V
公称電圧：DC 7.2V
容量：公称容量 7.7 Wh（1 080 mAh）
定格（最小）容量：7.3 Wh（1 020 mAh）
最大外形寸法：
約31.8 mm×18.5 mm×45 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約57 g

レンズ

レンズ	E16-50mm ズームレンズ[1]	E55-210mm ズームレンズ
付属機種	NEX-6L/6Y	NEX-6Y
35mm判換算焦点距離[2]（mm）	24-75	82.5-315
レンズ群-枚	8-9	9-13
画角[2]	83° - 32°	28.2° - 7.8°
最短撮影距離[3]（m）	0.25-0.3	1.0
最大撮影倍率（倍）	0.215	0.225
最小絞り	F22-F36	F22-F32
フィルター径（mm）	40.5	49
外形寸法（最大径×長さ）（約：mm）	64.7×29.9	63.8×108
質量（約：g）	116	345
手ブレ補正機能	あり	あり

[1] 電動ズーム

[2] ここでの35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当のイメージセンサーを搭載したデジタルカメラでの値を表します。

[3] 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35mm判カメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35mm判カメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。
（例：焦点距離50mmのレンズを付けると、35mm判カメラで約75mmに相当する画像が得られます。）

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格"Design rule for Camera Filesystem"（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

商標について

- α はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPROデュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"およびMAGICGATEはソニー株式会社の商標です。
- "InfoLITHIUM（インフォリチウム）"は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビア プレミアムフォト"は、ソニー株式会社の商標です。
- "PlayMemories Camera Apps"は、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- AndroidはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、PSロゴ、"プレイステーション"および"PlayStation"は同社の登録商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- "Works with PlayStation 3"ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

InfoLITHIUM
W
SERIES

MEMORY STICK

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

CLASS 4

AVCHD
Progressive

その他

安全のために

→ *2ページもあわせてお読みください。*

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュやAF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪いかた、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブルは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。

つづき

⚠注意 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

レンズや液晶モニターに衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

区分	内容	表示
⚠危険	• バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。	禁止
	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

数字・アルファベット順